

## 2023 年度 活動報告

総合文責：松本実夏

### 1. 団体紹介

Small World Coffee Hour はイベント「Small World Coffee Hour」(以下、コーヒーアワー)を企画・運営する団体である。留学生・日本人学生を問わず、様々な所属・学年の人が出会い、繋がる場を提供することを目的として、2005 年後期に発足した。以降、イベント内容に工夫を凝らし、組織運営を円滑化することで、15 年以上継続するに至っている。

#### 1.1 理念

留学生や国内学生をはじめとする様々な文化的背景を持つ人たちに、学内外で多くの交流の場を提供することを目的としている。それぞれの文化的背景を考慮した誰もが楽しめるイベントを行えるよう心掛けている。

#### 1.2 特徴

- ◇ 有志の学生が中心となり活動している。(学部・学年・国籍は問わない)
- ◇ 誰でも参加できるオープンなイベントを月 1 回のペースで開催できるよう、企画・運営を行っている。
- ◇ イベントでは、参加者同士が話すきっかけとなるようなテーマを設定し、アクティビティを実施している。

### 2. 活動紹介

#### 2.1 活動について

##### 2.1.1 ミーティング

週 1 回の頻度で行い、企画書をもとにして、その月のコーヒーアワーのテーマや内容、役割 分担、会場のレイアウトなどを決めている。各ミーティングでは、議事録を作成し、参加できなかったメンバーも内容を共有できるようにしている。

##### 2.1.2 広報活動

各イベントのポスターを作成し、学内に掲示する。コーヒーアワーの Facebook、Instagram にポスターを投稿する。また、海外留学室等のメールで広報していただく。今年度は SNS による広報が中心であった。

## 2.2 コーヒーアワーについて

### 2.2.1 当日の動き(目安)

15:00 会場で企画書に沿って設営開始／飲み物やお菓子を準備

16:15 受付開始

16:30 イベント開始

18:00 イベント終了、片付け

18:30 振り返りミーティング

### 2.2.2 今年度の振り返り

今年度は5、6、7、11、12、1、2月の開催となった。今年度は全イベントを対面にて開催し、ボードゲームやクラフト、年賀状作りや散策を通して国際交流をすることができた。昨年度よりもイベント回数を増やし、イベント中も参加者になるべく多くの人と交流できるよう工夫したため、今年度は国内学生・国際学生相互の親善友好に一層本団体は貢献できたものと考えている。

## 3. 年間行事記録

### 3.1 【4月】国際交流団体合同イベント

日時：2023年4月10日(月)、2023年11月9日(木)、15日(水)、20日(月)

場所：国際棟2階 CALE フォーラム 参加人数：約47名(春学期)、約18名(秋学期)

#### イベント概要：

春学期と秋学期に新メンバーを募集する合同説明会を開催した。本グループに加え、名古屋大学ヘルプデスク、プレゼンテーションアワー、留学のとびら、異文化交流サークルACE、名古屋大学留学生会(NUFSA)、名古屋大学生協留学生会(COFSA)、名古屋大学G30プログラム留学生グループ(NUISG)、名古屋大学模擬国連(NUMUN)が説明会に参加し、それぞれの団体が活動紹介のプレゼンを行った。



名古屋大学グローバル・エンゲージメントセンター支援チーム 主催!

## 国際交流団体 合同イベント

名大でキャンパスの国際交流を活発にするために色んな団体が様々な交流活動をしています。イベントでは各団体の活動内容紹介や国際棟周辺のキャンパスツアーをします!お気軽にご参加ください!

2023 4/10(月) 13:00-16:30  
場所：国際棟2階CALE フォーラム

キャンパスマップでC50の場所です!

以下はそれぞれの団体のSNSのQRコードです!ぜひ覗いてみてください!

QRコード: @nu\_kokusaikoryu

お問い合わせはメールをお願いします。  
nagoyaunivhldesk@gmail.com

### 実施した感想：

春学期は例年通り学部や大学院の新入生の参加が多かったが、秋学期は2年次以降の学生や秋入学の国際学生の参加も見られた。学生生活を送るにつれて国際交流に興味を持ち始める学生がいることや、半年間の留学を行う国際学生が多いことも踏まえると、合同説明会を年に2回行う意義は大きいと考える。

### 気づいたこと（改善点など）：

合同説明会自体は問題なく運営できていたと思うが、説明会後に参加者を各団体への加入に繋げることは難しさがあると感じた。活動紹介時に次回のミーティング日程を提示することや、参加者に団体のSNSをフォローしてもらい、活動への参加を呼び掛けることなど、繋がりを保つ工夫が必要であると考えた。

## 3.2 【5月】Higashiyama Zoo

日時：2023年5月27日(土) 場所：東山動植物園

### イベント概要：

4～6人のグループに分かれて、大学の近くにあるコアラやハンサムなゴリラで有名な東山動植物園を散策した。動植物園を回るルートは各グループで好きなように決めてもらい、終わっても自由解散とした。

### 実施した感想：

少人数のグループで動植物園を回ったため、コミュニケーションが取りやすく、新しい友達を作るきっかけとなった。天候にも恵まれ、動植物をじっくり観察し、素敵な写真を撮影するなど参加者全員が思い思いに楽しみ、また新たな交流がたくさん生まれたことに、主催者としても嬉しく感じた。

### 気づいたこと（改善点など）：

グループによっては日本人と留学生の人数のバランスに偏りが生じてしまい、留学生たちが英語で会話しているところに日本人が入りづらいということもあった。事前に使用したい言語を尋ねておき、それを基にグループを編成すべきだったと考える。

## 3.3 【6月】Japanese Culture Event

日時：2023年6月17日(土) 場所：国際棟1階 ラウンジ 参加人数：約30名

### イベント概要：

夏にちなんでうちわ作りをメインとし、かるた、こま、けん玉、折り紙など、日本文化を体験できるイベントを開催した。それぞれブースを用意し、参加者が興味を持ったものに自由に取り組めるようにした。

### 実施した感想：

うちわ作りだけでなく他にも体験を準備していたため、大人数の参加でも大きな問題なく進めることができた。また、うちわ作りが早く終わった参加者や、遅れて来た参加者にも対応し、常にいずれかの体験に取り組めるよう促すことができた。

### 気づいたこと（改善点など）：

時間がかかってしまう体験や、一つのアクティビティに没頭してしまう人が多く、あまり人の動きがなかった。参加者がたくさんの人と話すには、学生スタッフが参加者に違うアクティビティに移動するよう促すべきだと感じた。

COFFEE HOUR

QRコードをスキャンして申し込んでください

https://forms.gle/qNmWJsf5jzK3idm9

日付  
2023年6月17日

時間  
11.00-13.00

場所  
国際棟1階ラウンジ

定員：30名  
対象：名古屋・岐阜大学生

活動  
・うちわ作り ・こまとけん玉  
・折り紙 ・かるた

主催：グローバル・エンゲージメントセンター支援チーム (メール: isa@tee.nagoya-u.ac.jp)

共催：スモールワールド・コーヒーアワー学生チーム & COFSA (メール: nucoffeehour@gmail.com)

### 3.4 【7月】Biweekly Coffee Hour

日時：2023年7月14日(金)、2023年7月28日(金)

場所：国際棟1階 ラウンジ

### イベント概要：

飲み物とお菓子をを用意し、ボードゲームや会話トピックが書かれたカードを用いて気軽にグループで話せるイベントを開催した。リラックスしてインフォーマルな雰囲気の中交流を楽しみ新たな友達を作れるよう特に決まりを設けず、自由に楽しんでもらった。

### 実施した感想：

主催者側が動きを指示することはなく、参加者主体としたイベントであったが、参加者の方たちが互いを思いやりながら積極的に行動してくれたため、問題なくイベントを終えることができた。多くのグループで盛り上がった。

Small World  
Coffee Hour

カジュアルな会話、ボードゲームをしながら国際交流しませんか？  
コーヒーアワーでは、のんびりした雰囲気でお楽しみます

7月14日(金) 16:30-18:30  
7月28日(金) 16:30-18:30

会場：名古屋大学東山キャンパス・国際棟1階ラウンジ

対象：名古屋大学・岐阜大学学生  
言語：日本語、英語など

持ち物：飲み物（お菓子を会場に用意します）  
内容：自己紹介、会話、ボードゲームなど

申し込み不要  
途中入室可

主催：名古屋大学グローバル・エンゲージメントセンター支援チーム (e-mail: isa@tee.nagoya-u.ac.jp)

共催：コーヒーアワー学生チーム、COFSA (名古屋大学生協留学生会委員会) (e-mail: nucoffeehour@gmail.com)

COFFEE HOUR

ている様子が見られ、遅くまで参加者が会場に残っていたことから、たくさんの人が楽しんでくれていたと思う。

#### 気づいたこと（改善点など）：

ゲームが終わるまでに時間の掛かるボードゲームを行うとグループメンバーを入れ替えるのが難しくなるため、「モノポリー」のようなじっくり楽しむゲームよりも「Blokus」や「UNO」といった比較的短時間で終わるゲームの方がふさわしいと感じた。加えて、各グループの雰囲気により盛り上がるような施策を考え実行していきたいと思った。

### 3.5 【10月】Welcome Event

日時：2023年10月20日(金)、2023年10月27日(金) 18:00-20:00

場所：南部食堂 Mei-dining 参加人数：約100名（うちコーヒーアワーメンバー約5名）

#### イベント概要：

学生交流課による、秋学期から渡日した新しい留学生向けの歓迎イベントに、学生企画として参加した。会場の一角で、名古屋大学ヘルプデスクが実施するフリーマーケットのサポート、コーヒーアワーと名古屋大学ヘルプデスクの紹介ボード展示、ならびにコーヒーアワーとその関連グループのメンバーを募集するチラシの配布を行った。名古屋大学ヘルプデスクのメンバーと協力をして事前に活動中の様子が分かる写真を印刷し、飾り付けをして準備した。

#### 実施した感想：

合同説明会と比較し、人数も参加プログラムの幅も広いことから、普段出会うことが少ない参加者にもコーヒーアワーに関して伝えることができた。また、メンバー間で交代してブースを担当していたため、担当以外の時間ではイベントに参加して他の参加者と交流することができた。

#### 気づいたこと（改善点など）：

始めはブースに立ち寄ってくれた人にチラシを配布する予定であったが、実際は立ち寄る人が少なかったため、イベント中にメンバーで配って回り、参加者が帰宅する際に出口でも他のグループのチラシとまとめて一緒に渡した。来年度以降の開催に関しては、チラシの配布の仕方や、フリーマーケットの開催場所や方法を検討し、より良い形で実施できるように努めた。

### 3.6 【11月】Moon Viewing Walk

日時：2023年11月23日(木)

場所：名古屋大学東山キャンパス校内、国際棟1階 ラウンジ 参加人数：約30名

### イベント概要：

イベント内容を前半と後半で分け、前半の1時間はお月見散歩を開催し、後半の1時間半はゲームや交流を楽しむ時間とした。お月見散歩は満月を見ながら東山キャンパスでツアーを行い、様々な施設や建物を案内した。後半は少人数のグループごとに飲み物やお菓子を楽しみながら好きなゲームをして、自由に話して交流を深めてもらった。

### 実施した感想：

お月見散歩では大学内を歩きながら色々な人と話し、緊張することなく新たな出会いを楽しむことができた。後半のゲームの時間も言語の壁を超えて多くの素敵な交流ができたという点で、大成功だった。

### 気づいたこと（改善点など）：

ゲームの時間が1時間半と短かったため、一度グループを組んだら固定されてしまい、自ら他のグループに移動することが難しかった。主催者側が促しグループチェンジを一回行ったが、効果的に交流が行われるように複数回グループチェンジをする方が良いのではないかと思った。

## 3.8 【12月】New Years

日時：2023年12月21日(木)

場所：国際棟1階 ラウンジ 参加人数：約30人

### イベント概要：

書道と年賀状作りを行い、日本のお正月の伝統行事を紹介した。最初に書道と年賀状について説明し、2つのグループに分かれて体験を行った。書道コーナーでは、初めて習字に挑戦する参加者のために、コーヒーアワーのメンバーが水書道を使って「永」という文字を見本として書き方をレクチャーした。

### 実施した感想：

事前予約不要のイベントとしたが、参加人数が非常に多く驚いた。参加者は思い思いに色々な文字を書き、可愛い年賀状を作っていた。書道コーナーには、初めて書道を体験した人、経験が豊富で非常に上手に文字を書く人、また文字ではなく絵



を描いている人もいた。それぞれが素敵な作品を作ることができ、非常に楽しいイベントだったと思う。

**気づいたこと（改善点など）：**

時間が限られているので、参加者は説明を聞くより早く実際に自分でやってみたいと感じているようだった。体験会を行うイベント時は冒頭の説明やプレゼンを短くし、多くの時間を体験に割けると良いと思う。

### 3.9 【1月】Coffee Hour

日時：2024年1月18日(木) 場所：国際棟1階 ラウンジ

**イベント概要：**

7月と同様に、お菓子と飲み物を片手にボードゲームや会話ができるイベントを行った。今回は最初にアイスブレイクとして他己紹介を行ってから、自由にグループに分かれてゲームや交流を楽しんでもらった。

**実施した感想：**

前回同様、それぞれのグループが良い雰囲気の中コミュニケーションを取っていた。アイスブレイクは参加者が打ち解けるきっかけとなり良かったが、想定よりも時間が掛かり間延びしているようにも感じられたため、必ず行った方が良いかは疑問である。

**気づいたこと（改善点など）：**

アイスブレイクを行うメリット・デメリットを考え、行うか再検討するべきだと感じた。また、プレイ人数が多いゲームを複数用意しておくなど、グループ全員が参加できるような工夫を考えるべきだと思った。

### 3.9 【2月】ねりきりづくり

日時：2024年2月29日(木) 場所：国際棟1階 ラウンジ

**イベント概要：**

講師の先生を迎え、和菓子の練り切り作りを開催した。ピンク色の餡を用いて、講師の先生の指導の下、桜の練り切り作りに挑戦した。体験会は4回に分けて行い、参加者には待ち時間にボードゲームを楽しんでもらった。

## 実施した感想：

同じレクチャーを受けていても作られる形は人それぞれで、練り切りに個性や性格が出ていて非常に面白かった。中には自分なりのアレンジを加えている人もいた。普段練り切りを目にすることや味わうことがあまりないため、日本の伝統的なお菓子を知る貴重な機会となった。

## 気づいたこと（改善点など）：

練り切り作りによって和菓子への理解を深め、待ち時間にはゲームを通じて参加者間の交流を楽しむというように、日本文化体験と国際交流の両者を実現できるイベントとなった。体験会のメンバーの入れ替えがスムーズに行えるよう、あらかじめ参加者に練り切り作りを行うタームを伝えておいた方が良いのではないかと感じた。

## 4. メンバー紹介

### ・小島未莉 経済学部経済学科4年

今年度は留学生中心に多くのプログラムからの学生がメンバーとして加入してくれたことにより、イベントの幅や頻度が増え、多様性のあるコーヒーアワーになったように感じます。気軽に国際交流や文化体験ができることがコーヒーアワーの魅力だと思うので、引き続き門戸の広いどんな人にも機会を提供できる空間を作り続けてほしいと思います。今までお世話になりました。

### ・松本実夏 情報学部自然情報学科4年

昨年よりも企画や運営・広報に注力して携わることができ、名大生と留学生が交流できるきっかけ作りにより貢献することができたのではないかと思います。私自身もたくさんの人と出会い、刺激を受けながら楽しく活動することができました。サポートして下さった先生方や他のメンバーの方々には深くお礼を申し上げます。

### ・岡田英美里 G30 農学部応用生命学科3年

二年目のコーヒーアワーは、沢山の学生スタッフが加わったことで、よりたくさんの人と協力してイベントを企画・開催できました。イベント中は、昨年の経験を活かしてフレキシブルに動けたと思うので、これからも参加者の皆様によりいい国際交流の場を提供できるよう励みたいと思います。

### ・Karli Messer 田坂 NUPACE 短期交換留学生

去年の11月の途中から入ってきた短期留学生として、コーヒーアワーの皆さんと参加された皆さんと楽しくお話しでき、とてもよかった。特に留学生にとって、コーヒーアワーは国籍、言語力、文化等を問わずに居場所となり、名大での経験を応援した。

• **Edeline Luisia G30 農学部応用生命学科 3年**

今学期はスケジュールがかなり詰まっていますが、それでもコーヒアワーのメンバーたちと一緒にイベントを開催したり、話したり、とても楽しかったです。コーヒアワーが今後何年もこのままで、学生を受け入れ、学業のストレスにもかかわらず私たち全員が楽しめるようになればいいのと思います。

• **Humberto Lopez Cobos**

日本に来てから1年間もすぐ経ちます。今までコーヒアワーでいろいろなイベントを開催する機会がありました。メンバーの皆さんの協力ありがとうございました。この一年間の経験を活かしてもっと楽しいイベントを開催したいです。2024年の春学期もよろしくおねがいします。

• **Dima 理学部一年生**

大学入学前、交流イベントを行うサークルがあることは知っていましたが、自分がそのメンバーになれるとは思ってませんでした。コーヒアワーのイベント司会をしたりするのは非常に楽しく、メンバーになってからもう1年間くらい経ちました。これからもこのサークルの活動に積極的に参加したいし、嬉しいことに卒業までまだ3年間残ってます。

• **Yoon Dohyun 情報学研究科 博士前期過程 1年**

今年の秋学期からスタッフとして参加させていただくようになりました。国際交流に興味はありましたが、あまりにも内向的な性格でしたので、最初はコーヒアワーの雰囲気馴染めるのか不安でしたが、担当の先生やメンバーの皆さんのおかげさまで、色々と楽しいイベントの企画や運営に参加することができました。